



48:1 モアブについて。イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。「ああ、悲しいかな、ネボ。これは荒らされた。キルヤタイムもはずかしめられ、攻め取られた。そのとりでは、はずかしめられて打ちのめされた。48:2 もはやモアブの榮譽はない。ヘシュボンでは、これに悪事をたくらんでいる。『行って、あの国民を断ち滅ぼして無き者にしよう。』マデメンよ。おまえも黙る。剣がおまえのあとを追っている。」

48:3 聞け。ホロナイムからの悲鳴。「破壊だ。大破壊だ。」と。

48:4 モアブは打ち破られた。その叫びはツォアルまで聞こえた。

48:5 ルヒテの坂を泣きながら嘆きが上る。敵はホロナイムの下り坂では、いたいたい破壊の叫びを聞いた。

48:6 逃げて、おまえたちのいのちを救え。荒野の中の野るばのようになれ。

48:7 おまえは自分の作った物や財宝に抛り頼んだので、おまえまで捕えられ、ケモシュはその祭司や首長たちとともに、捕囚となって出て行く。

48:8 荒らす者がすべての町にはいつて来る。一つの町ものがれることができない。谷は滅びうせ、平地は根絶やしにされる。主が仰せられるからだ。

48:9 モアブに翼を与えて、飛び去らせよ。その町々は住む者もなく荒れ果てる。

48:10 主のみわざをおろそかにする者は、のろわれよ。その剣をどめて血を流さないようにする者は、のろわれよ。

48:11 モアブは若い時から安らかであった。

彼はぶどう酒のかすの上にじっとたまっていて、器から器へあけられたこともなく、捕囚として連れて行かれたこともなかった。それゆえ、その味はそのまま残り、かおりも変わらなかつた。

48:12 「それゆえ、見よ、その日が来る。主の御告げ。その日、わたしは、彼に酒蔵の番人を送る。彼らはそれを器から移し、その器をあげ、そのつぼを砕く。」

48:13 モアブは、ケモシュのために恥を見る。イスラエルの家が、彼らの抛り頼むベテルのために恥を見たように。」

48:14 どうして、あなたがたは「われわれは勇士、戦いの豪の者。」と言えようか。

48:15 モアブは荒らされ、その町々は襲われて、えり抜き若者たちも、ほふり場下って行く。その名を万軍の主という王の御告げ。」

48:16 モアブの災難は近づいた。そのわざわざいは、すみやかに来る。

48:17 その回りの者、その名を知る者はみな、これのために嘆け。「どうして力ある杖、美しい笏が砕かれたのか。」と言え。

48:18 ディボンに住む娘よ。栄光の座からおりて、潤いのない地にすわれ。モアブを荒らす者が、あなたを襲い、あなたの要塞を滅ぼしたからだ。

48:19 アロエルに住む女よ。道のかたわらに立って見張れ。逃げて来る男、のがれて来る女に尋ねて、「何が起こったのか。」と言え。

48:20 モアブは打ちのめされて、はずかしめられた。泣きわめき、叫べ。アルノンで、「モアブは荒らされた。」と告げよ。

48:21 さばきは次の平地に来た。ホロン、ヤハツ、メファアテ、

48:22 ディボン、ネボ、ベテ・ディブラタイム、

48:23 キルヤタイム、ベテ・ガムル、ベテ・メオン、

48:24 ケリヨテ、ボツラ、モアブの国の遠近のすべての町々に。

48:25 「モアブの角は切り落とされ、その腕は砕かれた。主の御告げ。」

ペリシテだけでなく、モアブもまた滅ぼされることが預言されています。このようにイスラエルだけでなく、他の異教の国も苦しみに会うのです。

私たちも同じで、苦しみにあうのは他の人々と同じです。違いは、主に信頼して従う者は、主のからの回復があるということです。現代にあっては、滅びゆく人々を愛してこの回復と救いを伝えることが私たちの使命です。あなたは今、何ができるでしょうか。

- ①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）
- ②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）
- ③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）
- ④この世にあって何を実践しますか？

